ぼくの大切なかぞく

ぼくの名前はシロ。
この家に来て５年になるんだ。

ぼくととってもなかよしのお兄ちゃんは、小学６年生になったよ。
とっても元気でやさしくて、ぼくの自慢のお兄ちゃん！
お父さんは、仕事で疲れて帰ってきても、「シロ、ただいま」って、かならずぼくの頭をなでてくれるんだ。
お母さんはとっても優しくて、ぼくをきれいに洗ってくれたり、ごはんをくれたりしてくれるよ。
だけど、最近みんな元気がなくて…。
どうしたら元気になってくれるか、一緒に考えてくれるかな？

ぼくはちょうど５年前、まだ赤ちゃんだったころ、公園の片隅に捨てられてたんだ。
お母さんと離れ離れになって、すごく悲しくて泣いていたら、「だいじょうぶ？」ってぼくを見つけてくれたのがお兄ちゃんだった。

１年生だったお兄ちゃんが一生懸命お父さんとお母さんにぼくのお話をしてくれてね。
お父さんもお母さんもぼくのかぞくになってくれたんだ。
お父さんも、お母さんも、お兄ちゃんも、とっても優しくて、いっぱい遊んでくれて、ぼくはすごくすごく嬉しかったよ。
それから毎日、お散歩に出かけたよ。
暑い日も、寒い日も、ぼくの大好きなお散歩コースを通ってね。

お兄ちゃんと散歩に行く日は、公園を通って、お兄ちゃんのお友だちとサッカーをして遊ぶんだ！
ぼくにもボールを蹴ってくれてね。
だから、ぼくもサッカーがすごく上手になったんだよ！

お父さんと散歩に行く日は、近くの海を通るんだよ。
海ってとっても大きくてね、ぼくはいつもワクワクするんだ。

お母さんと散歩に行く日は、とってもきれいなお花があるところを通るんだ。
お母さんはお花の名前を教えてくれるんだよ。
ぼくはやさしいお花のにおいが大好きなんだ。

だけど、ある日、お父さんが“コロナ”っていう病気になって入院しちゃったんだ。
とっても心配で、お父さんに会えなくてすごくすごくさみしかった。

お母さんもお兄ちゃんもお父さんに会えなくて、なんだかかぞくみんなが病気になっちゃったみたい。
毎日行ってた散歩も、全然行かなくなって、お母さんもお兄ちゃんも「シロ、ごめんね」って泣いてたんだ。
ぼくはお父さんのことも心配だけど、お母さんとお兄ちゃんのことも心配で…。
元気になってほしかったけど、どうしたらいいか分からなかった。
でも、いっしょうけんめい、「また、お父さんが元気になったら、みんなで散歩に行こうよ！」って伝えたよ。

それから何日も何日も経ってから、お父さんが元気になって帰ってきたんだ！
うれしくて、うれしくて、お父さんからずっと離れなかったよ。
お母さんもお兄ちゃんも笑ってくれて、すごくすごくうれしかった！
また、みんなでお散歩できるねって。

だけど…。

やっと行けた大好きなお散歩で、とってもいやなことがあったんだ。

お兄ちゃんとお散歩に行ったときに、いつもなかよしでサッカーをしていた友だちが、ぼくたちを見て「コロナ！」って言って、逃げちゃったんだ。
どうしてお友だちは逃げちゃったんだろう？
ケンカでもしたのかな？

お父さんとお母さんと散歩に行ったときは、すれちがった人に「うつるから、散歩になんか出るな！」って言われた。
お父さんは治ったよ？
ぼくたちは、元気だよ？
なんで、「お父さん、よくなってよかったね」って言ってくれないの？

あれから一歩もお散歩に行ってないよ。
お父さんもお母さんもお兄ちゃんも、病気が治ったのに、また元気がなくなっちゃった。
どうしたら元気になるのかな？
どうしたら笑ってくれるのかな？

ねえ、みんな、教えて！